

報道提供資料

令和6年6月28日

●この資料の取扱いについては、次のとおりお願いします。		お問い合わせ先	
ラジオ・テレビ・インターネット	解禁日 な し	羽曳野市教育委員会事務局 生涯学習部 文化財・世界遺産室 電話 072-958-1111（代） （内線 4400・4483） 直通 072-947-3904 担当 南口・吉澤	
紙面	解禁日 な し		

表 題	国指定史跡 古市古墳群の追加指定及び名称変更について
内 容	国の文化審議会は、6月24日（月曜日）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、羽曳野市の史跡の追加指定1件について、文部科学大臣に答申されました。 ■追加指定 ○古市古墳群 羽曳野市 ・安閑天皇陵古墳周堤（あんかんてんのうりょうこふんしゅうてい） 古市古墳群は、4世紀後半から6世紀中頃にかけて形成された、応神天皇陵古墳を頂点とする国内を代表する古墳群で、これまで22基（藤井寺市20基、羽曳野市4基、※2基は両市）が史跡に指定されています。 今回、安閑天皇陵古墳周堤において、条件の整った部分が追加指定されます。 ※詳細については添付資料をご覧ください。 また、写真データが必要な場合は、上記、問い合わせ先までご連絡ください。 ※文化庁及び大阪府より報道提供がなされたものと同内容となっております。

国指定史跡の追加指定及び名称変更について

追加指定される史跡

●古市古墳群（ふるいちこふんぐん）

古室山古墳 赤面山古墳 大鳥塚古墳 助太山古墳 鍋塚古墳 城山古墳
峯ヶ塚古墳 墓山古墳 野中古墳 応神天皇陵古墳外濠外堤 鉢塚古墳
はざみ山古墳 青山古墳 蕃所山古墳 稻荷塚古墳 東山古墳 割塚古墳
唐櫃山古墳 松川塚古墳 浄元寺山古墳 白鳥陵古墳周堤 仲姫命陵古墳
周堤 安閑天皇陵古墳周堤（あんかんてんのうりょうこふんしゅうてい）

○所在地

羽曳野市・藤井寺市

※追加指定対象の所在地

安閑天皇陵古墳周堤

羽曳野市古市5丁目

○概要

古市古墳群は、大阪府南東部、藤井寺市から羽曳野市に位置し、4世紀後半から6世紀中葉に形成された、巨大な前方後円墳を含む古墳群です。本来は130基を超える古墳によって構成されていましたが、現在、墳丘が残存する古墳は45基となっており、これまで22基の古墳が史跡指定されていました。

今回、安閑天皇陵古墳周堤において、条件の整った部分が追加指定されます。

安閑天皇陵古墳周堤（あんかんてんのうりょうこふんしゅうてい）

安閑天皇陵古墳は古市古墳群の南部に所在し、高屋丘陵の北端に築かれた前方後円墳です。墳長122mで、前方部が開く形を呈しており、後円部がわずかに高く築かれている構造が確認されています。また、昭和初期に墳丘のくびれ部付近に空洞があったことが確認されていることから、横穴式石室の^{せんどう}羨道が崩れたとみられ、主体部は横穴式石室の可能性が考えられています。現在、墳丘及び周濠と周堤の一部は宮内庁によって「安閑天皇古市高屋^{あんかんてんのうらるちのたがやのおかのみささぎ}丘陵」として管理されています。

出土遺物から6世紀前半頃に築造されたと考えられます。また、江戸時代には墳丘盛土内からササン朝ペルシャ製のガラス碗が出土したことが伝えられており、被葬者の性格を知る上で貴重な資料と言えます。

今回の指定地は、安閑天皇陵古墳の周堤部分に当たり、戦国時代には畠山氏の居城・高屋城として利用された場所でもあります。発掘調査の成果から、周濠へ落ち込む斜面や周堤に並行する遺構を確認し、周堤が良好に遺存している箇所と考えられます。



写真 安閑天皇陵古墳周堤（南西から） 提供：羽曳野市教育委員会



写真 安閑天皇陵古墳周堤（西から） 提供：羽曳野市教育委員会